



# TCFD開示とトランジションファイナンス – 2050年カーボンニュートラルに向けて –



最新の「TCFD Status Report」によれば、機関投資家は、TCFD開示のうち、①「戦略」に関連した開示項目の「リスクと機会」と「組織へのインパクト」、そして、②「指標と目標」に関連した開示項目の「GHGの排出」と「気候関連の指標・目標」への関心が高いことが明らかになっています。

こうした状況から、カーボンニュートラルやトランジションファイナンスの議論が進展するにつれて、TCFD開示においては、「戦略」の開示と「指標と目標」の開示の相互の連関性を明確にしていくことがより一層求められていくものと見込まれます。

そこで、本セミナーでは、企業と投資家が中長期的な企業価値の向上のために建設的な対話を進めていく上で望まれる、「戦略」と「指標と目標」の開示のあり方に焦点を当てつつ、日本における今後のTCFDを巡る展開を展望します。

|       |  |
|-------|--|
| 開催日   | 2021年4月28日（水）13:30～17:00   |
| 場所    | 完全オンライン（Zoom利用予定）  |
| 対象    | TCFD開示に取り組む企業、投資家等（定員：1,000名）  |
| 参加費用  | 無料   |
| 言語    | 日本語  |
| 主催    | 金融庁、株式会社日本取引所グループ（JPX）   |
| 申込み方法 | 以下の申込みページよりお申し込みください（先着1000名）<br><a href="https://zoom.us/webinar/register/WN_QJ05eoKkTxCi0ekssssOSA">https://zoom.us/webinar/register/WN_QJ05eoKkTxCi0ekssssOSA</a> |

## プログラム

| 時刻             | プログラム   |
|----------------|---|
| 13:30<br>15:05 | <p>パネル <b>3省庁鼎談 カーボンニュートラルに向けたTCFD開示とトランジションファイナンスの意義</b></p> <p>モデレーター 林 礼子 BofA証券 取締役副社長<br/>パネリスト 梶川文博 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長<br/>桑田 尚 金融庁 総合政策局 総合政策課 総合政策企画室長<br/>近藤崇史 環境省 大臣官房環境経済課 環境金融推進室長</p>                    |
| 15:05<br>15:20 | <p>講演 <b>JPX ESG Knowledge Hubの活動と今後の展開</b></p> <p>プレゼンター 鳥居夏帆 JPX サステナビリティ推進部 調査役</p>  |
| 15:20<br>17:00 | <p>パネル <b>トランジションを測る指標（KPIs）を巡るTCFDでの議論の進展</b></p> <p>モデレーター 池田賢志 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー<br/>パネリスト 高瀬香絵 CDPジャパン シニアマネージャー<br/>富田基史 電力中央研究所 上席研究員<br/>長村政明 東京海上ホールディングス フェロー（国際機関対応）<br/>藤村武宏 三菱商事サステナビリティ・CSR部長</p> |